

グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) 2016-06 (限定追加型) 愛称：グローバルメジャーズ16-06

償還運用報告書(全体版)

第8期(償還日2020年4月15日)

作成対象期間(2019年10月16日～2020年4月15日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、約款の規定にもとづき償還決算を行い、償還価額が決定いたしました。

ここに設定日から償還までの運用経過をご報告いたしますとともに、ご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策の渦中ではございますが、今後ともお客様本位の業務運営を継続的に行ってまいりますので、一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/資産複合
信託期間	2016年6月13日から2020年4月15日までです。
運用方針	世界各国の企業(金融機関を含みます。)が発行する期限付劣後債、永久劣後債、優先証券(以下「ハイブリッド証券」といいます。)および日本を含む先進国の公社債等を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。投資するハイブリッド証券は、取得時においてBB格相当以上の格付(格付がない場合は同等の信用度を有すると判断されるものを含みます。)を有するものとし、ポートフォリオ構築完了時点における組入銘柄の平均格付はBBB格相当以上とすることを基本とします。外貨建て資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
主な投資対象	世界各国の企業(金融機関を含みます。)が発行するハイブリッド証券および日本を含む先進国の公社債等を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、利子・配当等収益等の水準および基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	基準 価 額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金 騰 落	期 中 騰 落 率					
	円 銭		円	%	%		%	百万円	
4期(2018年4月16日)	10,380		60	△0.1	96.7		—	1,903	
5期(2018年10月15日)	10,287		60	△0.3	93.5		—	1,647	
6期(2019年4月15日)	10,232		60	0.0	76.3		—	1,378	
7期(2019年10月15日)	10,125		60	△0.5	56.0		—	1,213	
(償還時)	(償還価額)								
8期(2020年4月15日)	9,887.18		—	△2.3	—		—	1,055	

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設定しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

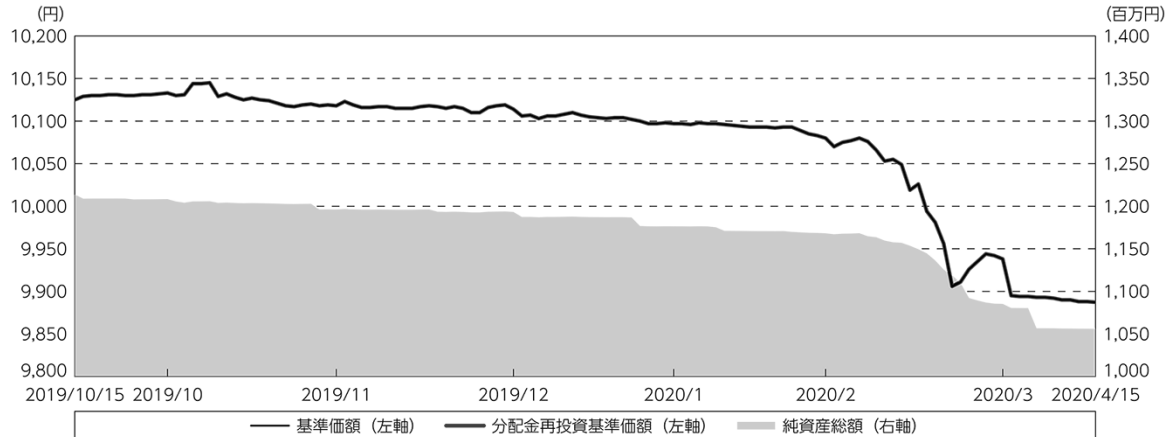
年 月 日	基 準	基 準 価 額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰 落	騰 落 率				
(期 首)	円 銭		%	%		%	
2019年10月15日	10,125		—	56.0		—	
10月末	10,133		0.1	55.7		—	
11月末	10,118		△0.1	52.7		—	
12月末	10,114		△0.1	44.8		—	
2020年1月末	10,097		△0.3	36.4		—	
2月末	10,080		△0.4	27.8		—	
3月末	9,938		△1.8	2.4		—	
(償還時)	(償還価額)						
2020年4月15日	9,887.18		△2.3	—		—	

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首： 10,125円

期末 (償還日)： 9,887円18銭 (既払分配金 (税込み)： -円)

騰 落 率： △ 2.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首 (2019年10月15日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の変動要因

* 基準価額は2.35%の下落

基準価額は、期首の10,125円から償還時には9,887.18円となりました。

(上昇要因)

債券を保有していたことによるインカムゲイン (利子収入)

(下落要因)

保有債券の価格下落に伴うキャピタルロス

○投資環境

米国市場では金利は低下しました。期首から2019年12月末にかけては、米中通商協議を巡り楽観的な見方が広がったことや、堅調な米国の経済指標などを受けて上昇基調で推移しました。2020年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済の景気減速懸念を受けて金利は低下に転じました。また3月にはFRB（米連邦準備制度理事会）が政策金利を引き下げるとともに量的緩和政策の再開を決定するなど大規模な金融緩和に踏み切ったことも金利の低下要因となりました。

欧州市場では金利は小幅上昇しました。期首から2019年12月末にかけては、ECB（欧州中央銀行）のラガルド総裁がユーロ圏の景気に対し底打ちの兆しがあるとの認識を示した事に加え、英国で保守党が過半数の議席を獲得し、政治的不透明感が後退したことから金利は上昇基調で推移しました。2020年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済の景気減速懸念を受けて金利は低下に転じたものの、ユーロ圏各国で積極的な財政政策への期待が高まったことや、ECBが定例理事会で利下げを見送ったことなどから再び金利は上昇し、期間を通して見ますと金利は小幅な上昇となりました。

欧米クレジット市場では、スプレッド（国債との利回り格差）は拡大しました。期首から2020年初にかけては、米中通商協議の進展や各国中央銀行が金融緩和を維持するとの見方などを受けて、スプレッドは縮小基調で推移しました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の急落などが懸念され、スプレッドは大幅に拡大しました。

ハイブリッド債市場は欧米クレジット市場と概ね同様の動きとなり、スプレッドは拡大しました。

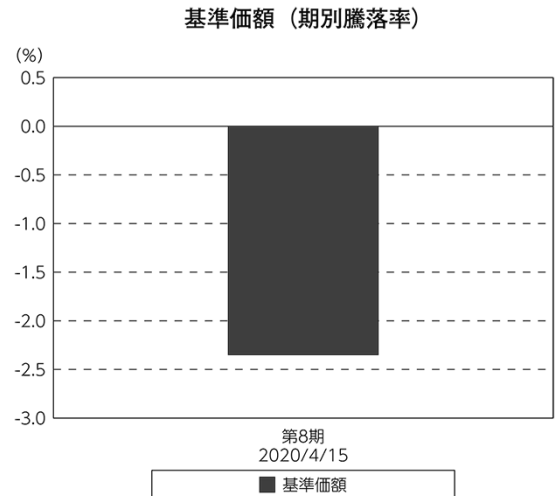
○当ファンドのポートフォリオ

世界各国の企業が発行するハイブリッド証券および日本を含む先進国の公社債等を主要投資対象とし、ポートフォリオの構築にあたっては、原則としてハイブリッド証券の中から信用力、利回り水準、発行総額、流動性等を考慮し、投資対象銘柄を選定しました。外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設定していません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

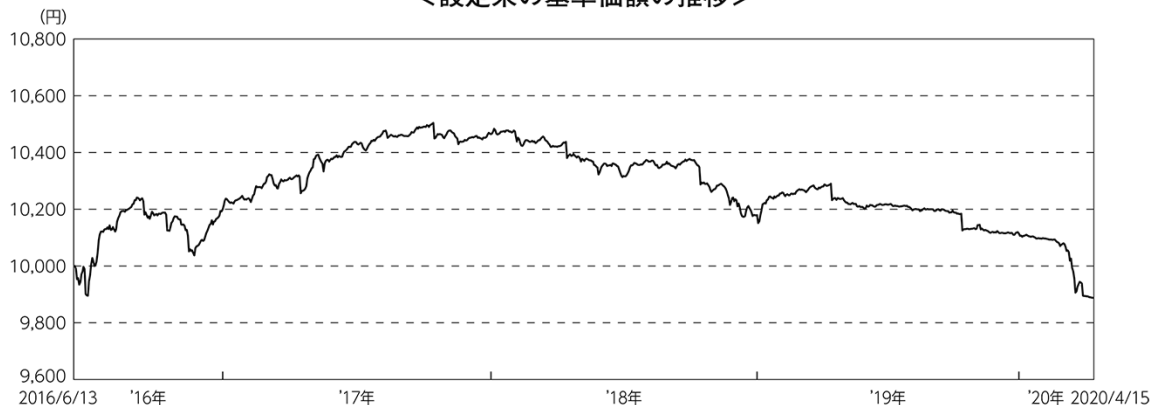


◎分配金

償還のため分配は行いませんでした。

◎設定来の運用経過

<設定来の基準価額の推移>



○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時10,000円から償還時9,887.18円となりました。設定来お支払いした分配金は1万口当たり420円となりました。

（上昇要因）

債券を保有していたことによるインカムゲイン（利子収入）

（下落要因）

保有債券の価格下落に伴うキャピタルロス
為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）

○ 1 万口当たりの費用明細

（2019年10月16日～2020年4月15日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 69	% 0.688	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(33)	(0.330)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(33)	(0.330)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.028)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	1	0.006	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	70	0.694	
期中の平均基準価額は、10,080円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

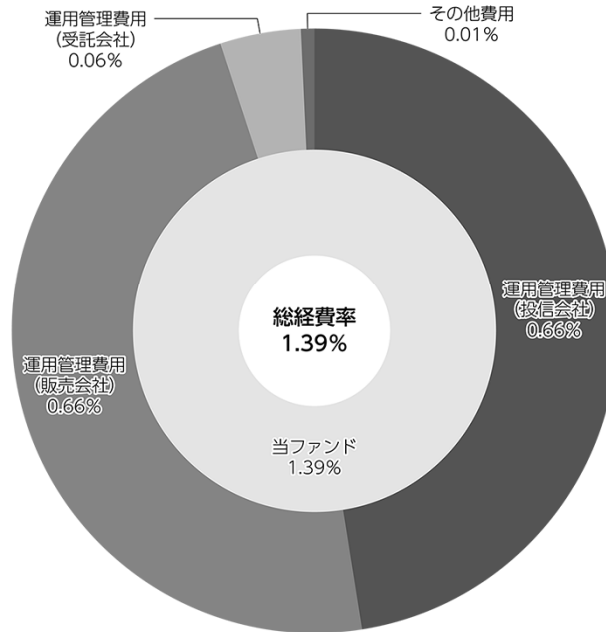
* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.39%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2019年10月16日～2020年4月15日）

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円	千円
		—	— (90,000)
外国	アメリカ	千米ドル	千米ドル
		—	150 (300)
	イギリス	千英ポンド	千英ポンド
—		— (550)	
国内	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	—	180
	フランス	—	348
			(1,947)
	イギリス	—	142
			(650)
	スウェーデン	—	189
	オーストラリア	—	197

*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

*単位未満は切り捨て。

*（ ）内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

（2019年10月16日～2020年4月15日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2020年4月15日現在）

2020年4月15日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

（2020年4月15日現在）

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 1,064,117	% 100.0
投資信託財産総額	1,064,117	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況（2020年4月15日現在）

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	1,064,117,952
コール・ローン等	1,064,117,952
(B) 負債	8,120,132
未払信託報酬	8,100,305
未払利息	441
その他未払費用	19,386
(C) 純資産総額(A-B)	1,055,997,820
元本	1,068,047,075
償還差損金	△ 12,049,255
(D) 受益権総口数	1,068,047,075口
1万口当たり償還価額(C/D)	9,887円18銭

(注) 期首元本額は1,198,796,641円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は130,749,566円、1口当たり純資産額は0.988718円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額1,762,217円。

○損益の状況（2019年10月16日～2020年4月15日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	9,712,782
受取利息	9,918,668
その他収益金	42,658
支払利息	△ 248,544
(B) 有価証券売買損益	△27,454,594
売買益	25,991,341
売買損	△53,445,935
(C) 信託報酬等	△ 8,166,443
(D) 当期損益金(A+B+C)	△25,908,255
(E) 前期繰越損益金	13,544,653
(F) 追加信託差損益金	314,347
(配当等相当額)	(415,819)
(売買損益相当額)	(△ 101,472)
償還差損金(D+E+F)	△12,049,255

*損益の状況の中で(C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2016年6月13日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年4月15日			資産総額	1,064,117,952円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	8,120,132円	
受益権口数	1,451,701,895口	1,068,047,075口	△383,654,820口	純資産総額	1,055,997,820円	
元本額	1,451,701,895円	1,068,047,075円	△383,654,820円	受益権口数	1,068,047,075口	
				1万円当たり償還金	9,887円18銭	
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金		
				金額	分配率	
第1期	2,607,877,590円	2,640,372,568円	10,125円	60円	0.6%	
第2期	2,427,903,641	2,490,023,017	10,256	60	0.6	
第3期	2,154,862,024	2,251,656,934	10,449	60	0.6	
第4期	1,833,838,680	1,903,559,148	10,380	60	0.6	
第5期	1,601,533,597	1,647,488,724	10,287	60	0.6	
第6期	1,346,762,002	1,378,008,770	10,232	60	0.6	
第7期	1,198,796,641	1,213,821,648	10,125	60	0.6	

○償還金のお知らせ

1万円当たり償還金（税込み）	9,887円18銭
----------------	-----------

○お知らせ

該当事項はございません。